

## 第22期

# 運用報告書(全体版)

## シェール関連株オープン

【2024年4月9日決算】

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
皆様の「シェール関連株オープン」は、2024年4月9日に第22期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。  
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

**SBI 岡三アセットマネジメント**

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

お取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

[ホームページ]

<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2013年4月25日から2045年4月7日までです。	
運用方針	シェール関連株マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて、米国、カナダおよびメキシコのシェール関連企業の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	シェール関連株マザーファンド	米国、カナダおよびメキシコの取引所上場(上場予定を含みます。)株式(DR(預託証券)を含みます。)を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	シェール関連株マザーファンド	株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年4月9日および10月9日(それぞれ休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S&P 500指数 (円換算後)		S&P500トータルリターン指数 〔円換算後〕		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 分配	み 騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
	円	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%	百万円
18期(2022年4月11日)	11,503	600	43.2	559,374.34	13.4	-	-	90.2	-	1,702
19期(2022年10月11日)	11,888	800	10.3	526,578.09	△ 5.9	-	-	96.0	-	3,903
20期(2023年4月10日)	10,703	300	△ 7.4	544,407.75	3.4	-	-	95.3	-	3,807
21期(2023年10月10日)	11,932	700	18.0	644,279.08	18.3	-	-	91.3	-	3,133
22期(2024年4月9日)	12,644	1,000	14.3	-	-	1,718,538.167	-	90.0	-	2,902

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) S & P 500指数(円換算後)およびS&P500トータルリターン指数〔円換算後〕は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

S & P 500指数(円換算後)およびS&P500トータルリターン指数〔円換算後〕は、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて当社が算出しています。

(注) 2023年12月29日にS & P 500指数(円換算後)からS&P500トータルリターン指数〔円換算後〕に参考指数を変更いたしました。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、株式組入比率および株式先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

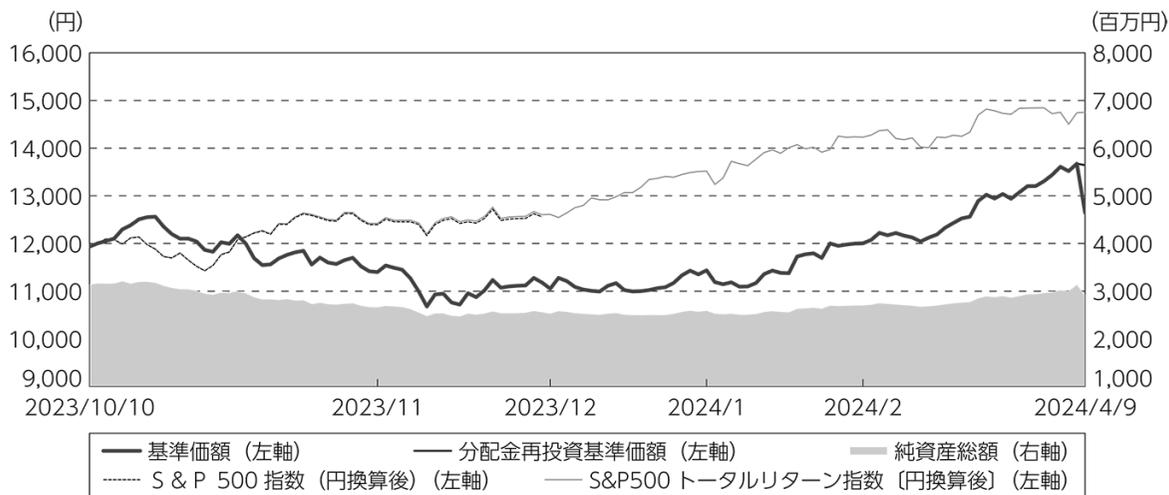
年月日	基準価額		S & P 500指数 (円換算後)		S&P500トータルリターン指数 〔円換算後〕		株式 組入比率	株式 先物比率
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%
2023年10月10日	11,932	-	644,279.08	-	-	-	91.3	-
10月末	11,826	△ 0.9	622,981.26	△ 3.3	-	-	94.3	-
11月末	11,401	△ 4.5	669,253.80	3.9	-	-	92.5	-
12月末	11,051	△ 7.4	-	-	1,468,875.160	-	90.2	-
2024年1月末	11,437	△ 4.1	-	-	1,574,793.773	-	91.7	-
2月末	12,003	0.6	-	-	1,657,701.474	-	92.1	-
3月末	13,203	10.7	-	-	1,728,803.922	-	93.7	-
(期末)								
2024年4月9日	13,644	14.3	-	-	1,718,538.167	-	90.0	-

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2023年10月11日～2024年4月9日)



期首：11,932円

期末：12,644円 (既払分配金(税引前)：1,000円)

騰落率：14.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、S & P 500指数(円換算後)およびS&P500トータルリターン指数[円換算後]です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首(2023年10月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 2023年12月29日にS & P 500指数(円換算後)からS&P500トータルリターン指数[円換算後]に参考指数を変更いたしました。そのため、S & P 500指数(円換算後)の推移は2023年12月28日までを記載、S&P500トータルリターン指数[円換算後]の推移は見やすさの観点から期首(2023年10月10日)より記載しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主な投資対象である「シェール関連株マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### (主なプラス要因)

- ・良好な企業業績が好感された石油・ガス探査・開発株や石油・ガス貯蔵・輸送株が上昇したことがプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、タルガ・リソーシズやアーチロックなどの上昇がプラスに寄与しました。
- ・為替市場では、米ドルが円に対して上昇(円安)したことがプラスに寄与しました。

### (主なマイナス要因)

- ・石油・ガス装置・サービス株が下落したことがマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄では、テトラ・テクノロジーズやSLBなどの下落がマイナスに影響しました。

### 投資環境

(2023年10月11日～2024年4月9日)

北米株式市場は、2023年10月中旬から10月下旬にかけては、物価高が長期化すると懸念から長期金利が上昇したため、下落しました。11月上旬から2024年4月上旬にかけては、米連邦準備制度理事会(FRB)による金融引き締め政策が終了すると期待から長期金利が低下したことが好感され、反発しました。為替市場では、2023年10月上旬から11月中旬までは、円安基調が持続しました。その後、11月下旬から12月下旬にかけては円高の動きとなりましたが、2024年1月上旬以降は、再び円安となりました。

原油価格は、2023年10月中旬から12月上旬にかけては、石油輸出国機構(OPEC)加盟国とロシアなどのOPEC非加盟の産油国で構成する「OPECプラス」において、協調減産の路線を巡り対立が生じていることなどが嫌気され、下落しました。12月中旬から2024年4月上旬にかけては、中東情勢の悪化や、ウクライナ軍がロシア国内の製油施設をドローンで攻撃したことなどから供給懸念が高まり、上昇しました。

### 当ファンドのポートフォリオ

(2023年10月11日～2024年4月9日)

#### <シェール関連株オープン>

「シェール関連株マザーファンド」の受益証券の組入比率は、概ね高位を維持しました。

#### ○シェール関連株マザーファンド

株式組入比率は、概ね高位で推移させました。運用状況につきましては、総合石油株や財務体質の強固な石油・ガス探査・開発株を高位にウェイト付けしたポートフォリオで運用しました。投資行動としては、好調な業績が期待される石油・ガス貯蔵・輸送株や石油・ガス精製・販売株の買付けを行い、ウェイトを引き上げました。一方、買収提案を受け株価が上昇した石油・ガス探査・開発株の売却を行い、ウェイトを引き下げました。なお、組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジは行いませんでした。

### 当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年10月11日～2024年4月9日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。参考指数は、2023年12月28日まではS&P 500指数(円換算後)でしたが、2023年12月29日以降は、S&P500トータルリターン指数[円換算後]に変更いたしました。このため、当期中に参考指数が変更となったことからファンドとの比較ができないため、「基準価額と参考指数の対比(騰落率)」の掲載は行っておりません。

分配金

(2023年10月11日～2024年4月9日)

当ファンドは、毎年4月9日および10月9日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勧告のうえ決定します。

当期の分配につきましては、1万口当たり1,000円（税引前）とさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第22期
	2023年10月11日～ 2024年4月9日
当期分配金	1,000
(対基準価額比率)	7.329%
当期の収益	1,000
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,766

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境)

北米株式市場は、もみ合いの動きを想定します。米国経済の堅調さが持続している点はプラス材料である一方、FRBによる金融緩和への期待が後退したため、短期的には方向感のない展開が続くと予想します。加えて、2024年11月の米国大統領選挙に対する不透明感も市場の重石になると考えられます。2024年の後半以降は、FRBによる金融緩和や好調な企業業績に対する期待から、堅調な相場展開を想定します。

原油価格については、じり高の展開を想定します。サウジアラビアを中心とした「OPECプラス」の一部加盟国による自主減産が継続されることは、需給面でプラスになると考えられます。また、中国の製造業購買担当者景気指数（PMI）が改善傾向にあることも、原油価格の上昇要因になると予想されます。以上の点から、シェール関連企業の株価は、底堅く推移すると予想されます。

(運用方針)

<シェール関連株オープン>

「シェール関連株マザーファンド」を通じて、米国、カナダおよびメキシコの企業の中から、シェールガス/オイルの生産拡大により成長が期待される企業、エネルギーコストの低下により恩恵を受ける企業に投資をします。「シェール関連株マザーファンド」の受益証券の組入比率は、高位を維持する方針です。

○シェール関連株マザーファンド

ファンドの基本方針に基づき、米国、カナダおよびメキシコの企業の中から、シェールガス/オイルの生産拡大により成長が期待される企業、エネルギーコストの低下により恩恵を受ける企業に投資をします。業種としては、石油・ガス探査・開発株や石油・ガス貯蔵・輸送株を高位にウェイト付けします。なお、組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年10月11日～2024年 4 月 9 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 100	% 0.848	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 45 )	( 0.383 )	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 52 )	( 0.438 )	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 3 )	( 0.027 )	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	11	0.094	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	( 11 )	( 0.094 )	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	( 0 )	( 0.000 )	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	4	0.035	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 3 )	( 0.028 )	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1 )	( 0.007 )	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	( 0.000 )	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	115	0.977	
期中の平均基準価額は、11,820円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

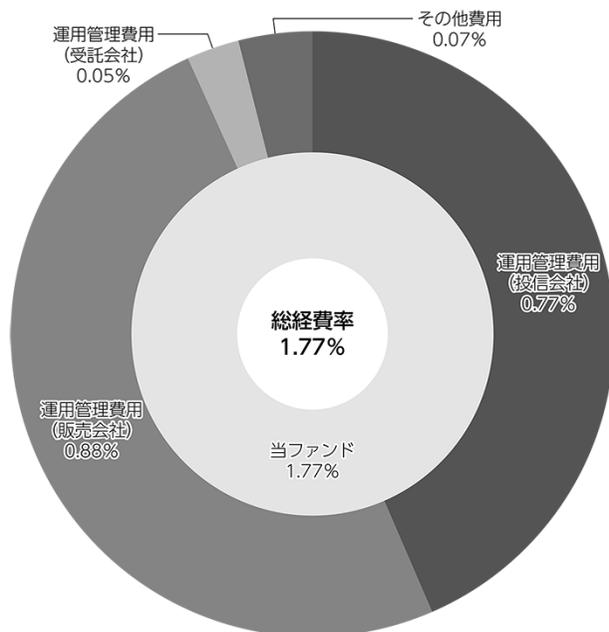
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年10月11日～2024年4月9日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
シェール関連株マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 318,555	千円 650,000

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2023年10月11日～2024年4月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	シェール関連株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,990,899千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,517,009千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.79

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2023年10月11日～2024年4月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年4月9日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
シェール関連株マザーファンド	千口 1,473,774	千口 1,155,219	千円 2,647,879

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年4月9日現在)

項目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
シェール関連株マザーファンド	2,647,879	83.7
コール・ローン等、その他	517,127	16.3
投資信託財産総額	3,165,006	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) シェール関連株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,631,775千円)の投資信託財産総額(2,647,925千円)に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=151.98円、1カナダドル=111.98円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年4月9日現在)

項目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,165,006,312
コール・ローン等	517,126,337
シェール関連株マザーファンド(評価額)	2,647,879,234
未収利息	741
(B) 負債	262,858,284
未払収益分配金	229,527,796
未払解約金	10,046,410
未払信託報酬	23,104,247
その他未払費用	179,831
(C) 純資産総額(A-B)	2,902,148,028
元本	2,295,277,967
次期繰越損益金	606,870,061
(D) 受益権総口数	2,295,277,967口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,644円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.2644円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は2,626,283,896円、期中追加設定元本額は299,222,583円、期中一部解約元本額は630,228,512円です。

○損益の状況 (2023年10月11日~2024年4月9日)

項目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 14,562
受取利息	4,954
支払利息	△ 19,516
(B) 有価証券売買損益	401,706,841
売買益	425,773,889
売買損	△ 24,067,048
(C) 信託報酬等	△ 23,289,299
(D) 当期損益金(A+B+C)	378,402,980
(E) 前期繰越損益金	40,781,302
(F) 追加信託差損益金	417,213,575
(配当等相当額)	( 444,929,904)
(売買損益相当額)	(△ 27,716,329)
(G) 計(D+E+F)	836,397,857
(H) 収益分配金	△229,527,796
次期繰越損益金(G+H)	606,870,061
追加信託差損益金	417,213,575
(配当等相当額)	( 445,416,426)
(売買損益相当額)	(△ 28,202,851)
分配準備積立金	189,656,486

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

	決算期	第22期
(a) 配当等収益(費用控除後)		36,186,886円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)		342,216,094円
(c) 信託約款に規定する収益調整金		445,416,426円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金		40,781,302円
分配対象収益(a+b+c+d)		864,600,708円
分配対象収益(1万口当たり)		3,766円
分配金額		229,527,796円
分配金額(1万口当たり)		1,000円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

## ○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税引前）	1,000円
支払開始日	2024年4月15日（月）までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

### 〈お知らせ〉

該当事項はございません。

シェール関連株マザーファンド  
第11期 運用状況のご報告  
決算日：2024年4月9日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	米国、カナダおよびメキシコのシェール関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資し、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主要投資対象	米国、カナダおよびメキシコの取引所上場（上場予定を含みます。）株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
投資制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		S & P 500指数 (円換算後)		S&P500トータルリターン指数 [円換算後]		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率			
7期(2020年4月9日)	5,449	△47.2	299,940.32	△7.0	-	-	95.0	-	367
8期(2021年4月9日)	8,224	50.9	447,861.65	49.3	-	-	96.3	-	639
9期(2022年4月11日)	15,639	90.2	559,374.34	24.9	-	-	96.7	-	1,586
10期(2023年4月10日)	16,352	4.6	544,407.75	△2.7	-	-	99.5	-	3,647
11期(2024年4月9日)	22,921	40.2	-	-	1,718,538.167	-	98.6	-	2,647

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) S & P 500指数 (円換算後) およびS&P500トータルリターン指数 [円換算後] は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

S & P 500指数 (円換算後) およびS&P500トータルリターン指数 [円換算後] は、当該日前営業日の現地終値に為替レート (対顧客電信売買相場の当日 (東京) の仲値) を乗じて当社が算出しています。

(注) 2023年12月29日にS & P 500指数 (円換算後) からS&P500トータルリターン指数 [円換算後] に参考指数を変更いたしました。

(注) 株式先物比率=買建比率-売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

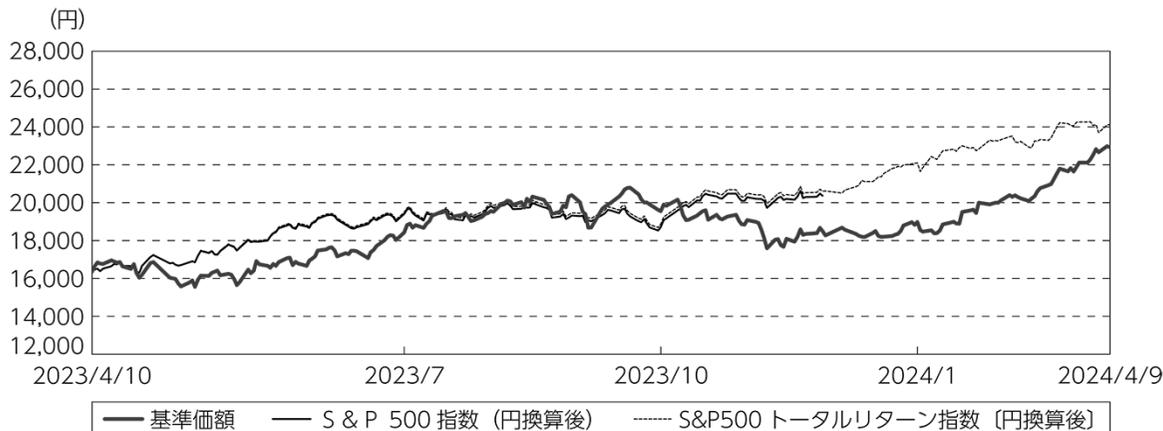
年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算後)		S&P500トータルリターン指数 〔 円 換 算 後 〕		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2023年 4 月10日	円 16,352	% -	ポイント 544,407.75	% -	ポイント -	% -	% 99.5	% -
4 月末	16,192	△ 1.0	554,674.50	1.9	-	-	99.1	-
5 月末	15,955	△ 2.4	587,805.53	8.0	-	-	97.8	-
6 月末	17,476	6.9	637,439.84	17.1	-	-	99.1	-
7 月末	18,424	12.7	645,956.96	18.7	-	-	98.9	-
8 月末	19,560	19.6	660,073.99	21.2	-	-	95.7	-
9 月末	20,399	24.7	643,149.13	18.1	-	-	99.2	-
10 月末	19,549	19.6	622,981.26	14.4	-	-	99.1	-
11 月末	18,837	15.2	669,253.80	22.9	-	-	97.4	-
12 月末	18,272	11.7	-	-	1,468,875.160	-	97.6	-
2024年 1 月末	18,984	16.1	-	-	1,574,793.773	-	97.7	-
2 月末	20,003	22.3	-	-	1,657,701.474	-	97.2	-
3 月末	22,112	35.2	-	-	1,728,803.922	-	97.2	-
(期 末) 2024年 4 月 9 日	22,921	40.2	-	-	1,718,538.167	-	98.6	-

(注) 騰落率は期首比。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2023年4月11日～2024年4月9日)



(注) 参考指数は、S & P 500指数 (円換算後) およびS&P500トータルリターン指数 (円換算後) です。

(注) 参考指数は、期首 (2023年4月10日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 2023年12月29日にS & P 500指数 (円換算後) からS&P500トータルリターン指数 (円換算後) に参考指数を変更いたしました。そのため、S & P 500指数 (円換算後) の推移は2023年12月28日までを記載、S&P500トータルリターン指数 (円換算後) の推移は見やすさの観点から期首 (2023年4月10日) より記載しております。

### 〇基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### (主なプラス要因)

- ・良好な企業業績が好感された石油・ガス探査・開発株や石油・ガス貯蔵・輸送株が上昇したことがプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、アーチロックやタルガ・リソーイズなどの上昇がプラスに寄与しました。
- ・為替市場では、米ドルが円に対して上昇 (円安) したことがプラスに寄与しました。

#### (主なマイナス要因)

- ・肥料価格の低下が嫌気された肥料・農薬株が下落したことがマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄では、テトラ・テクノロジーズやPBFエナジーなどの下落がマイナスに影響しました。

### 投資環境

(2023年4月11日～2024年4月9日)

北米株式市場は、2023年4月中旬から7月下旬にかけては、良好な企業業績が好感されたほか、米消費者物価指数 (CPI) の伸びが鈍化したため、上昇しました。8月上旬から10月下旬にかけては、物価高が長期化すると懸念から長期金利が上昇したため、下落しました。11月上旬から2024年4月上旬にかけては、米連邦準備制度理事会 (FRB) による金融引き締め政策が終了すると期待から長期金利が低下したことが好感され、反発しました。為替市場では、2023年4月上旬から11月中旬までは、円安基調が持続しました。その後、11月下旬から12月下旬にかけては円高の動きとなりましたが、2024年1月上旬以降は、再び円安となりました。

原油価格は、2023年4月中旬から6月下旬にかけては、世界経済の悪化により原油需要の減少が懸念され、下落しました。7月上旬から10月上旬にかけては、サウジアラビアとロシアが自主的な減産を発表したこと等により、反発しました。10月中旬から12月上旬にかけては、石油輸出国機構（OPEC）加盟国とロシアなどのOPEC非加盟の産油国で構成する「OPECプラス」において、協調減産の路線を巡り対立が生じていることなどが嫌気され、下落しました。12月中旬から2024年4月上旬にかけては、中東情勢の悪化や、ウクライナ軍がロシア国内の製油施設をドローンで攻撃したことなどから供給懸念が高まり、上昇しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2023年4月11日～2024年4月9日)

株式組入比率は、概ね高位で推移させました。運用状況につきましては、総合石油株や財務体質の強固な石油・ガス探査・開発株を高位にウェイト付けしたポートフォリオで運用しました。投資行動としては、好調な業績が期待される石油・ガス貯蔵・輸送株や石油・ガス装置・サービス株の買付けを行い、ウェイトを引き上げました。一方、運輸株や素材株、公益事業株を売却し、ウェイトを引き下げました。なお、組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジは行いませんでした。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年4月11日～2024年4月9日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。参考指数は、2023年12月28日まではS&P 500指数（円換算後）でしたが、2023年12月29日以降は、S&P500トータルリターン指数 [円換算後] に変更いたしました。このため、当期中に参考指数が変更となったことからファンドとの比較ができないため、騰落率の掲載は行っておりません。

## 今後の運用方針

### (投資環境)

北米株式市場は、もみ合いの動きを想定します。米国経済の堅調さが持続している点はプラス材料である一方、FRBによる金融緩和への期待が後退したため、短期的には方向感のない展開が続くと予想します。加えて、2024年11月の米国大統領選挙に対する不透明感も市場の重石になると考えられます。2024年の後半以降は、FRBによる金融緩和や好調な企業業績に対する期待から、堅調な相場展開を想定します。

原油価格については、じり高の展開を想定します。サウジアラビアを中心とした「OPECプラス」の一部加盟国による自主減産が継続されることは、需給面でプラスになると考えられます。また、中国の製造業購買担当者景気指数（PMI）が改善傾向にあることも、原油価格の上昇要因になると予想されます。以上の点から、シェール関連企業の株価は、底堅く推移すると予想されます。

### (運用方針)

ファンドの基本方針に基づき、米国、カナダおよびメキシコの企業の中から、シェールガス／オイルの生産拡大により成長が期待される企業、エネルギーコストの低下により恩恵を受ける企業に投資をします。業種としては、石油・ガス探査・開発株や石油・ガス貯蔵・輸送株を高位にウェイト付けします。なお、組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

○1万口当たりの費用明細

(2023年4月11日～2024年4月9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 39 (39)	% 0.206 (0.206)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	0 ( 0 )	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	7 ( 7 ) ( 0 )	0.040 (0.039) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	46	0.247	
期中の平均基準価額は、18,813円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年4月11日～2024年4月9日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 4,181 ( 20)	千米ドル 12,569 (△ 5)	百株 6,194	千米ドル 26,446
	カナダ	487	千カナダドル 1,550	801	千カナダドル 1,351

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2023年4月11日～2024年4月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	6,026,345千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,077,435千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.95

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2023年4月11日～2024年4月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2024年4月9日現在)

## 外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
EOG RESOURCES INC	50	14	189	28,819	エネルギー
EXXON MOBIL CORP	100	45	542	82,445	エネルギー
HALLIBURTON CO	170	50	204	31,125	エネルギー
PHILLIPS 66	49	30	505	76,848	エネルギー
SCHLUMBERGER LTD	130	35	189	28,745	エネルギー
DEVON ENERGY CORP	120	40	213	32,481	エネルギー
DOVER CORP	52	—	—	—	資本財
ONEOK INC	64	50	399	60,776	エネルギー
SEMPRA	52	—	—	—	公益事業
COTERRA ENERGY INC	200	80	224	34,067	エネルギー
CHESAPEAKE UTILITIES CORP	31	—	—	—	公益事業
TIDEWATER INC	—	22	216	32,964	エネルギー
UNION PACIFIC CORP	26	12	288	43,823	運輸
ATMOS ENERGY CORP	55	26	302	45,967	公益事業
EQT CORP	147	—	—	—	エネルギー
CENTERPOINT ENERGY INC	160	—	—	—	公益事業
RANGE RESOURCES CORP	—	50	179	27,242	エネルギー
NATIONAL FUEL GAS CO	65	—	—	—	公益事業
NORFOLK SOUTHERN CORP	22	—	—	—	運輸
CHENIERE ENERGY INC	—	15	234	35,672	エネルギー
CABOT CORP	—	20	188	28,648	素材
CHEVRON CORP	53	25	403	61,274	エネルギー
PIONEER NATURAL RESOURCES CO	30	—	—	—	エネルギー
CONOCOPHILLIPS	52	14	185	28,175	エネルギー
SM ENERGY CO	77	40	208	31,617	エネルギー
HELMERICH & PAYNE	—	50	216	32,873	エネルギー
HESS CORP	70	12	186	28,408	エネルギー
MARATHON OIL CORP	180	70	206	31,373	エネルギー
MARATHON PETROLEUM CORP	60	24	520	79,143	エネルギー
MOSAIC CO/THE	89	—	—	—	素材
MURPHY OIL CORP	—	47	226	34,415	エネルギー
OCCIDENTAL PETROLEUM CORP	130	70	481	73,119	エネルギー
VALERO ENERGY CORP	46	28	506	76,976	エネルギー
WILLIAMS COS INC	120	90	350	53,276	エネルギー
WESTLAKE CORP	55	—	—	—	素材
HUNTSMAN CORP	110	—	—	—	素材
KINDER MORGAN INC	162	110	201	30,693	エネルギー
LYONDELLBASELL INDU-CL A	55	—	—	—	素材
TARGA RESOURCES CORP	75	55	637	96,938	エネルギー
MATADOR RESOURCES CO	76	50	344	52,387	エネルギー
LIBERTY ENERGY INC	—	100	221	33,693	エネルギー
CACTUS INC - A	105	—	—	—	エネルギー
MAGNOLIA OIL & GAS CORP - A	133	80	212	32,365	エネルギー
ANTERO RESOURCES CORP	158	120	359	54,658	エネルギー
DOW INC	100	—	—	—	素材
OVINTIV INC	100	70	387	58,884	エネルギー

シエール関連株マザーファンド

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
TEEKAY TANKERS LTD-CLASS A	—	30	173	26,344	エネルギー	
HESS MIDSTREAM LP - CLASS A	—	80	288	43,818	エネルギー	
CIVITAS RESOURCES INC	—	20	151	23,015	エネルギー	
NORTHERN OIL AND GAS INC	—	40	165	25,173	エネルギー	
DT MIDSTREAM INC	51	60	374	56,883	エネルギー	
GULFPORT ENERGY CORP	—	12	192	29,324	エネルギー	
KODIAK GAS SERVICES INC	—	80	222	33,751	エネルギー	
PERMIAN RESOURCES CORP	—	120	213	32,426	エネルギー	
ATLAS ENERGY SOLUTIONS INC	—	90	211	32,171	エネルギー	
CALIFORNIA RESOURCES CORP	—	30	167	25,404	エネルギー	
ARCHROCK INC	550	250	522	79,371	エネルギー	
FRONTLINE PLC	150	—	—	—	エネルギー	
CHENIERE ENERGY INC	55	—	—	—	エネルギー	
CSX CORP	230	—	—	—	運輸	
CHESAPEAKE ENERGY CORP	30	20	180	27,414	エネルギー	
PATTERSON-UTI ENERGY INC	—	140	169	25,787	エネルギー	
DIAMONDBACK ENERGY INC	48	27	557	84,765	エネルギー	
PDC ENERGY INC	54	—	—	—	エネルギー	
BAKER HUGHES CO	—	50	171	26,026	エネルギー	
CHORD ENERGY CORP	—	10	184	27,965	エネルギー	
WEATHERFORD INTERNATIONAL PL	—	40	493	74,944	エネルギー	
CHAMPIONX CORP	—	50	192	29,248	エネルギー	
APA CORP	83	50	175	26,626	エネルギー	
VIPER ENERGY INC	—	48	189	28,822	エネルギー	
小 計	株 数 ・ 金 額	4,783	2,791	14,733	2,239,193	
	銘柄 数 < 比 率 >	48	52	—	<84.6%>	
(カナダ)			千カナダドル			
CANADIAN NATURAL RESOURCES	71	70	767	85,958	エネルギー	
SUNCOR ENERGY INC	180	140	735	82,368	エネルギー	
TOURMALINE OIL CORP	—	70	457	51,178	エネルギー	
WHITECAP RESOURCES INC	430	—	—	—	エネルギー	
PEMBINA PIPELINE CORP	83	100	487	54,579	エネルギー	
ARC RESOURCES LTD	—	200	514	57,580	エネルギー	
CRESCENT POINT ENERGY CORP	430	300	358	40,178	エネルギー	
小 計	株 数 ・ 金 額	1,194	880	3,320	371,841	
	銘柄 数 < 比 率 >	5	6	—	<14.0%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	5,977	3,671	—	2,611,035	
	銘柄 数 < 比 率 >	53	58	—	<98.6%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年4月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 2,611,035	% 98.6
コール・ローン等、その他	36,890	1.4
投資信託財産総額	2,647,925	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(2,631,775千円)の投資信託財産総額(2,647,925千円)に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=151.98円、1カナダドル=111.98円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年4月9日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,647,925,619 円
コール・ローン等	35,390,401
株式(評価額)	2,611,035,589
未収配当金	1,499,606
未収利息	23
(B) 負債	379
その他未払費用	379
(C) 純資産総額(A-B)	2,647,925,240
元本	1,155,219,770
次期繰越損益金	1,492,705,470
(D) 受益権総口数	1,155,219,770口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,921円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、2.2921円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は2,230,652,575円、期中追加設定元本額は54,060,548円、期中一部解約元本額は1,129,493,353円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

シェール関連株オープン 1,155,219,770円

○損益の状況 (2023年4月11日～2024年4月9日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	93,134,544 円
受取配当金	92,752,504
受取利息	395,229
その他収益金	2,933
支払利息	△ 16,122
(B) 有価証券売買損益	1,003,529,288
売買益	1,147,529,359
売買損	△ 144,000,071
(C) その他費用等	△ 1,262,554
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,095,401,278
(E) 前期繰越損益金	1,416,871,387
(F) 追加信託差損益金	35,939,452
(G) 解約差損益金	△1,055,506,647
(H) 計(D+E+F+G)	1,492,705,470
次期繰越損益金(H)	1,492,705,470

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

- ・ S B I 岡三アセットマネジメント株式会社への商号変更等に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日：2023年7月1日)
- ・ 2024年1月から開始されるNISA成長投資枠への対応を目的として、デリバティブ取引に係る利用目的の明確化に関する投資信託約款の変更を行いました。(実施日：2023年7月8日)